

R6薬用作物産地支援 栽培技術研修 (富山会場)

研修実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員： 15名

研修実施場所： 1日目：富山県薬用植物指導センター、2日目：富山県民会館（富山県富山市）

実施時期： 8月22日（木）～23日（金）

	時間	研修科目	内容	講師	所属
1日目	13:00-13:40 (40分)	13:00現地集合 場所：富山駅前（JR西日本） 移動(バス利用)→薬植セ	研修の概要説明	事務局	
	13:45-14:25 (40分)	[講義] 富山県における薬用作物の栽培振興の取組について	富山県における薬用作物（シャクヤク、トウキ等）の栽培振興へ向けた取り組みについて紹介する。	舟橋 志津子	富山県農産食品課
	14:30-16:45 (135分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等について ・概要説明 ・ほ場見学	富山県上市町における現地研修でシャクヤクの栽培状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	藤井理市 永田雄也 土肥正幸 碓井秀臣 田村隆幸	富山県農村振興課 上市町産業課 富山農林振興センター 上市町薬用作物生産組合 富山県薬事総合研究開発センター
	16:50-17:40 (50分)	移動（バス利用） →富山駅前		事務局	
2日目	9:10-10:00 (50分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について（仮題）	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	小柳裕和	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
	10:10-11:30 (80分)	[講義] 薬用作物の栽培技術について（仮題）	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培技術について解説する。（シャクヤク、ジュウヤク、トウキ等）	酒井英二	岐阜薬科大学教授
	11:40-12:20 (40分)	[講義] 新発田市における薬用植物栽培振興の取組み（仮題）	新発田市における薬用作物（シャクヤク）の生産振興に関する地域・生産者の取り組みを紹介する。	上田幹久 日水唯衣	新潟県新発田市農林水産課
	12:20-13:20	昼食			
	13:20-14:40 (80分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	